

報道機関配付資料 安城市

件名 特別展「地震と災難―宝永地震から三河地震まで―」の開催について

令和6年10月30日

歴史博物館では、特別展「地震と災難―宝永地震から三河地震まで―」を開催いたします。令和7年は三河地震から80年の節目の年です。江戸時代中期から近代の地震被害と人々の対応について紹介します。

記

【展覧会】会期 令和6年11月30日(土)～

令和7年1月19日(日)

場所 安城市歴史博物館 企画展示室

観覧料 一般500円(中学生以下無料)

【内覧会】日時 11月29日(金) 午後2時～

【主な展示資料】 展示資料約100点

- ・「津波警告板」(和歌山県指定有形文化財)(白浜町富田地区蔵)
- ・「かめや板壁書置」(印南町指定文化財)(印南町蔵)
- ・「明治二十四年十月廿八日大地震後図」(岐阜県博物館蔵)

問い合わせ 文化振興課

電話(直通) 0566-77-6655



安城市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



安城市LINE
公式アカウント
友だち募集中

令和6年10月30日

定例記者会見資料

地震と災難 —宝永地震から三河地震まで—

会期：令和6年11月30日(土)～令和7年1月19日(日)

会場：安城市歴史博物館企画展示室

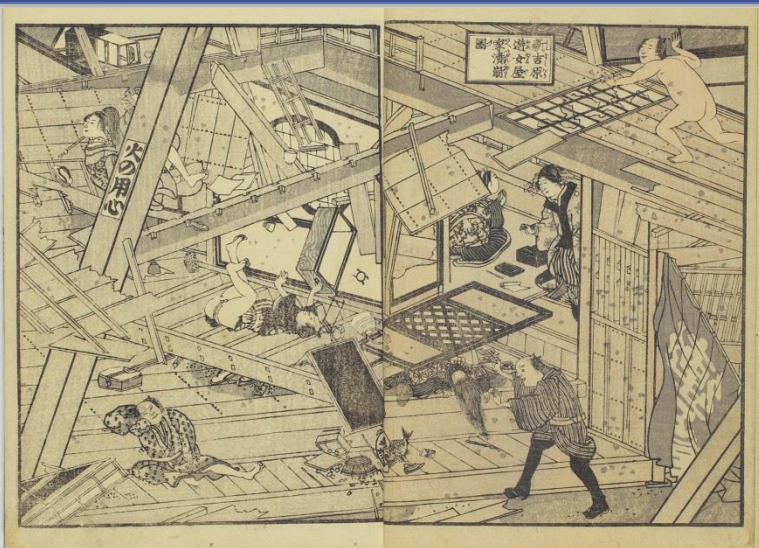
観覧料：500円



明治二十四年十月廿八日大地震後図（岐阜県博物館蔵）

開催趣旨

令和7年1月で三河地震発生から80年が経過します。現在でも地震は各地で多発しており、近世以降は残された史料から地震発生時とその後の対応について知ることができます。今回の展示では、近世中期から近代の地震史料を中心に、人々が地震という、降りかかってきた災難を克服していく様子を紹介します。



安政見聞誌中（本館蔵）

展示構成

第1章 記録を残す地震が始まる

- 第1節 宝永地震
- 第2節 文政京都地震
- 第3節 善光寺地震

第2章 古今稀成大地震・津波 —幕末期の地震—

- 第1節 伊賀上野地震
- 第2節 安政東海地震
- 第3節 安政南海地震
- 第4節 安政江戸地震

第3章 変化する社会と震災

- 第1節 濃尾地震
- 第2節 関東大震災
- 第3節 昭和東南海地震
・三河地震

展示点数 約100点

第1章

- ・宝永4年（1707）の宝永地震は最大級の規模の地震で、幕府への報告内容や後世に被害を伝える史料を紹介します。
- ・文政13年（1830）の文政京都地震では、三河に被害はなかったものの、真宗門徒たちが京都にある本山東本願寺のために支援しました。
- ・弘化4年（1837）の善光寺地震では、当時御開帳の時期で多くの人も集まっており、門前町の火災や大規模な山崩れが起きました。藩による被災の記録を紹介します。

第2章

- ・嘉永7年（1854）6月の伊賀上野地震は内陸地震で三重県域に大きな被害を与えました。
- ・同年11月4日安政東海地震は広い地域で被害が出ており、様々な記録が残されており、特に東海道・三河の被害を紹介します。
- ・同年11月5日安政南海地震は東海地震の翌日に起こり紀伊国を中心に大きな被害が出ました。大坂の津波被害は瓦版にも取り上げられました。
- ・安政2年（1855）の江戸地震では瓦版や版本などでひろく人々に知られました。



津波警告板（和歌山県西牟婁郡白浜町富田地区蔵）

第3章

- ・明治24年（1891）の濃尾地震は、日本赤十字社や軍隊などが救援にあたり、まだ新しかった新聞や写真によって被害状況が人々に伝えられました。
- ・大正12年（1923）の関東大震災では、地方出身の被災者が故郷へ避難する動きがあり、本市域に避難したパン屋さんの手紙を紹介します。
- ・昭和19年（1944）12月7日の昭和東南海地震、昭和20年（1945）の三河地震は、太平洋戦争末期に発生し、人手不足、物資不足の中での人々の対応を紹介します。

特別展記念講演会	歴博講座	展示解説
安政東南海地震に学ぶ ー 地震・津波被害の実態理解を通じてー [日時] 12月14日(土)14:00～ [講師] 谷口央氏 (東京都立大学人文社会学部教授) [定員] 60名 申込期間 11月1日(金)～11月23日(土) 往復はがきでの申込は、11月23日(土)必着 移住者たちの関東大震災 ー 被災地・横浜と郷里との関係を中心にー [日時] 1月18日(土)14:00～ [講師] 吉田律人氏 (横浜都市発展記念館主任調査研究員) [定員] 60名 申込期間 12月1日(日)～12月22日(日) 往復はがきでの申込は、12月22日(日)必着 申込方法詳細 あいち電子申請システム・往復はがきにて受付(抽選) ※往復はがきの場合は、イベント名、氏名、郵便番号を明記し、往復はがきにて安城市歴史博物館まで郵送。※はがき1枚につき、1名申込となります。	史料からみる三河地震 当日受付 [日時] 12月8日(日)14:00～ [講師] 本部はる香(本館学芸員) [定員] 60名(当日先着順) 防災体験デー 「みんなでまなぼうさい」 [日時] 12月7日(土) 10:00～14:00 [場所] 歴史博物館・安祥城址公園 災害救援車両の展示や防災ゲーム体験など防災について楽しく学ぶイベントを開催します。 災害時に役立つ防災クッキング [日時] 12月15日(日) 10:00～12:00 [講師] 岡田公夫氏・田所登代子氏(安城防災ネット) [定員] 20名(事前申込み先着順) [参加費] 500円(材料費) 申込 11月24日(日)9:00～電話受付	12月24日(火) 10:00～ 1月13日(月・祝)10:00～ ※先着15名(当日先着順) ※当日9:50～受付 関連イベント 参加無料 講話 「能登半島地震における 自衛隊の災害救助活動について」 [日時] 1月13日(月・祝)10:00～11:00 [講師] 竹井孝行氏(自衛隊愛知地方協力本部安城募集案内所広報官) [定員] 40名(事前申込み先着順) 申込 12月22日(日)9:00～電話受付 地震と災難クイズラリー [日時] 11月30日(土)～1月19日(日) 9:00～15:30 [参加費] 1キット200円 ※別途観覧料必要(中学生以下無料)

学生割引 学生証提示で 観覧料 **100円割引**
※他の割引券との併用はできません。

内覧会 11月29日（金）午後2時～

地震後世俗語之種 初篇之三(真田宝物館蔵)

三河地震写真帳(萩原律撮影)(西尾市教育委員会蔵)

特別展

地震と災難

— 宝永地震から三河地震まで —

令和6年

令和7年

11.30_[土]~1.19_[日]

【休館日】毎週月曜日、12月28日(土)~1月4日(土) ※1月13日は開館

【開館時間】9:00~17:00 (入館は16:30まで)

【観覧料】500円 ※中学生以下無料
※団体(20名様以上:400円)



安城市歴史博物館

〒446-0026 愛知県安城市安城町城堀30番地

【TEL】0566-77-6655 【FAX】0566-77-6600

【URL】<https://ansyobunka.jp/>

明治二十四年十月廿八日大地震後図(岐阜県博物館蔵)

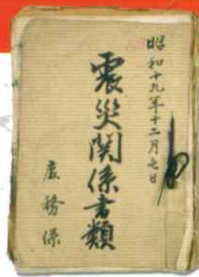
特別展

地震と災難

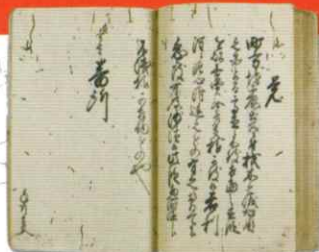
— 宝永地震から三河地震まで —



日用諸記(個人蔵)



安城市役場震災関係書類(本館蔵)



御触書帳(静岡県立中央図書館蔵)



宝永四年十月日津波警告板(和歌山県西牟婁郡白浜町富田地区蔵)

三河地震が発生してから2025年1月で80年になります。現在も地震は日本各地で頻発しており、時代を問わず人々は地震によって被害を受けてきました。特に近世以降は、残された史料から地震発生からその後の対応を断片的に知ることができます。

近世後期には大地震が続き、火災や河川閉塞、津波などの二次災害が被災地を襲いました。いずれも藩や民の記録に残され、被害の実態や救済措置の一端を知ることができます。

近代に入ると行政による対応や民間による支援などが行われていきます。大きな震災は社会の変化の起点にもなり、都市計画や物流にも影響を与えました。

本展では、近世から近代にかけての地震災害を中心に、人々が災難を克服していく様子を紹介します。

特別展記念講演会

安政東南海地震に学ぶ

— 地震・津波被害の実態理解を通じて —

【日時】12月14日(土)14:00~

【講師】谷口央氏
(東京都立大学人文社会学部教授)

【定員】60名



申込期間 11月1日(金)~11月23日(土)
往復はがきでの申込は、11月23日(土)必着

移住者たちの関東大震災

— 被災地・横浜と郷里との関係を中心に —

【日時】1月18日(土)14:00~

【講師】吉田律人氏
(横浜都市発展記念館主任調査研究員)

【定員】60名



申込期間 12月1日(日)~12月22日(日)
往復はがきでの申込は、12月22日(日)必着

申込方法詳細

あいち電子申請システム・往復はがきにて受付(抽選)

※往復はがきの場合は、イベント名、氏名、郵便番号を明記し、往復はがきにて安城市歴史博物館まで郵送。※はがき1枚につき、1名申込となります。

歴博講座

史料からみる三河地震

【日時】12月8日(日)14:00~

【講師】本部はる香(本館学芸員)

【定員】60名(当日先着順)

当日受付

展示解説

12月24日(火) 10:00~

1月13日(月・祝)10:00~

※先着15名(当日先着順)

※当日9:50~受付

関連イベント

防災体験デー

「みんなでまなぼうさい」

【日時】12月7日(土) 10:00~14:00

【場所】歴史博物館・安祥城址公園

災害救援車両の展示や防災ゲーム体験など防災について楽しく学ぶイベントを開催します。

災害時に役立つ防災クッキング

【日時】12月15日(日) 10:00~12:00

【講師】岡田公夫氏・田所登代子氏(安城防災ネット)

【定員】20名(事前申込み先着順)

【参加費】500円(材料費)

申込 11月24日(日)9:00~電話受付

「能登半島地震における自衛隊の災害救助活動について」

【日時】1月13日(月・祝)10:00~11:00

【講師】竹井孝行氏(自衛隊愛知地方協力本部安城募集案内所広報官)

【定員】40名(事前申込み先着順)

申込 12月22日(日)9:00~電話受付

参加無料

地震と災難クイズラリー

【日時】11月30日(土)~1月19日(日)

9:00~15:30

【参加費】1キット200円

※別途観覧料必要(中学生以下無料)

学生割引

学生証提示で

観覧料

100円割引

※他の割引券との併用はできません。



ANJO CITY MUSEUM OF HISTORY
安城市歴史博物館

〒446-0026 愛知県安城市安城町城堀30番地
TEL)0566-77-6655 FAX)0566-77-6600
URL)https://ansyobunka.jp/

▶公式HP、SNSもご覧ください。

安城市歴史博物館



※お客様よりいただいた個人情報は、本事業のご案内のみに活用させていただきます。

交通案内

- 名鉄西尾線南安城駅より東へ徒歩15分
- JR東海道本線安城駅より
あんくるバス(1番系統安祥線)川島行き10分
- JR東海道新幹線三河安城駅よりタクシー20分

※無料駐車場(230台収容)あり

あんくるバス(1安祥線)川島行き時刻表

JR安城駅(発)	9:33	11:08	12:41	15:08
名鉄南安城駅(発)	9:37	11:12	12:45	15:12
歴史博物館(着)	9:43	11:18	12:51	15:18

